



発行所 神戸市中央区北長狭通5-2-10 兵庫高等学校教職員組合 TEL 神戸(341)6745-6747 E-mail honbu@hyogo-kokyoso.com http://www.hyogo-kokyoso.com 発行人 津川 知久 編集人 松岡 敦之

定価 1部 20円 半年分 120円

組合員の購読料は組合費含め徴収

高教組 賃金確定闘争を終結

拡大闘争委員会で決定

2010年度賃金確定最終交渉は1日午前6時50分より行われ、県教委は最終回答を提示しました。高教組拡大闘争委員会は9時35分、確定闘争を一旦終結させることを確認しました。

民間・中小業者と共同して 賃金闘争をたたかう

県「行革」による賃金抑制措置を撤回できるかが今年度確定闘争の最大の課題でした。私たちは県「行革」に真っ向から反対し、民間労働者や中小業者と連帯して運動をすすめました。また、職場の思いがたつた4734筆の署名を提出し、2度の県庁前決起集会を成功させました。

賃金改悪実施時期を遅らせるなど重要な成果

一時金の役職加算の削減を一部緩和したのみで、月例給の5%カットを継続するといった回

県教委最終回答

賃金・手当 給料表・現給保障：勧告通り引き下げ 11年4月1日～
一時金：勧告通り引き下げ
10年12月：期末1.35月 + 勤勉0.65月 計2.00月
11年6月：期末1.225月 + 勤勉0.675月 計1.90月
11年12月：期末1.375月 + 勤勉0.675月 計2.05月
行財政構造改革への取り組み
一時金役職加算の減額措置を今年度(6、12月分)一部緩和
加算率5%適用者：(4%) 5%
" 10% " : (6%) 7.8%
" 15% " : (7.5%) 9.4%
" 20% " : (10%) 12%
役職加算を受けていない職員：12月の勤勉手当で1人当たり平均9000円を加算

支給日12月16日
自宅に係る住居手当：1600円に引き下げ 10年12月～
廃止に向けた見直しの必要、来年度改めて協議
義務教育等教員特別手当：全人連が示すモデル額通り改定
(現行2.2%相当 1.5%相当) 11年1月～
給料の調整額：国の見直し内容の水準に改定。
ただし段階的に国の水準に合わせるよう引下げを行っていることを考慮 現行6%相当 4.5%相当(11年1月～)
3.75%相当(12年1月～)

50歳代後半層の給与のあり方 国の動向を踏まえ来年度改めて協議

減額調整(引き下げ改定の4月遡及)：実施しない

勤務実績の給与への反映：勤勉手当の成績率及び期間率は国より有利な取扱となっているが、来年度は現行を据え置き。これらの扱いについて来年度改めて協議

休暇制度
病欠休暇
・精神疾患の病欠休暇は現行の2年間を据え置き、ただし有給の期間は90日、以後2年までの期間は無給(公立学校共済組合から給料の83.3%の手当金支給)
・一般疾病、結核性疾患は90日
・11年4月1日より実施、現在一般疾病に係る病欠休暇を取得中の職員については一定の経過措置

子育て支援休暇の対象事由追加 家庭訪問への対応、個人懇談への参加を追加 来年度より

教員評価
人事評価育成システム
来年度は本格実施せず
本格実施に向けて来年度改めて協議

臨時教職員の待遇改善
月額で報酬が支給されている非常勤講師の休暇
無給で適用されている子育て支援休暇・短期介護休暇・病欠休暇を有給休暇として適用 来年度より

時間講師の休暇
忌引休暇を有給休暇として適用 来年度より

答は妥結に値するものではありませんが、「行革」反対を正面にすえて闘ったことが、賃金改悪の実施時期を一年先送りにしたことや「評価育成システム」の本格実施を許さなかったことなどの成果に繋がりました。同時に、とりまく状況も動向し、確定闘争はここでいったん終結させることを拡大闘争委員会は決定

高教組は、臨時教職員の待遇改善、超勤縮減、教職員評価の問題、障害児学校のスクールバス添乗業務、学校の技能労務職のあり方など、継続交渉として残されたたくさんの課題に全力で取り組みます。

高教組独自要求への回答

臨時教職員問題
常勤講師の空白の1日
今後意見を伺いながら研究していきたい
次年度の任用確保
勤務を希望する場合ははていねいに対応

超勤縮減
従事時間申告書の活用
長時間労働の解消が図れるよう活用について校長を指導
超過勤務をなくす8項目の徹底
趣旨を理解、今後も勤務時間適正化の具体的な方策についてご意見をいただきたい

他
免許更新制
未受講者の確認作業中、指導もしていきたい
旅費の実費支給
中身については一切未定、案ができた段階で話し合い

業者模試に教員が携わらないこと
現在高校教育課と教職員課で検討中
スクールバス添乗の民間委託問題
担当課と協議

新・折々の自白自解 西宮香風高校 見目 誠
煌きをもちて寒風に抗す木々
とくに落葉広葉樹の冬の裸木が、その潔さゆえに私は好きである。それでも直射日光が当たると真冬でもちややかな光を宿す。しかも御存知のとおり、落葉するものは、すでに冬の芽は翌年の春を目指して準備されている。寒くない冬の場合、その冬の芽吹きはよくない。だからこそ、植物とくに樹木類のつした辛抱強さを自覚したいものである。

展望

確立交渉山場 日付が変わろうとする中で、この一文を書いていきます。初めて中執として参加して以来、もう20年以上たちました。今年が最後の交渉です。そして、残念なことにこれまでに増して、もどかしい時間を過ごしています。交渉の席では、職場の現状が具体的に、切実に出されました。しかし県の回答には、この切実さを受け止め、ともに考えようとする言葉がありません。ひとつひとつの言葉に、きちんと自分の意思をくぐらせた説得力がない。リアリティーがないのです。だから、響かない。なぜだろう。学校を、教育を、私たちはこんな行政にゆだねているのか。この思いとともに、ある時期から、行政の人たちが仕事の誇りを、急速に衰えさせているように感じるのです。

「何を言われても予算がないから無理だ。」と言われれば、その中で仕事を苦勞もわかりません。しかしだからこそ、創造的な仕事をするため、虚心に現場を見て、声を聞くことが大切だと思っております。学校と教職員が抱える課題を、上から見下ろしてはいけません。さあ残された時間をがんばろう。(わ)

神戸市教研 11/27

全体会は神戸女学院大学石川ゼミ生の「慰安婦問題」。学生たちの学びと実践を見せていただきました。



分科会は4つにわかれて開催。「職員会議について」と「高塚事件」のレポートで学習を深めた分科会。また、高校が地元の小学校と連携した美術・国語授業のとりくみ、「教える力を高めるとりくみ」のレポートで大いに議論した分科会も。

アンケートに基づく資料を配布、生徒も家族も大切にしながら生き生きと働く職場づくりを訴え、子育て支援休暇の対象事由拡大を勝ち取る！

女性部・養教部



11/26

較差と貧困の広がりで見学援助拡大が必要なこと、また特別な支援を要する生徒の増加など、定時制の困難な状況に県が予算を付けるよう要求。劣悪な条件で日々雇用技能労務職員が続かないことも訴える。

定通部



11/19

10確定 専門部交渉

技能労務職の現給保障継続を勝ち取る。被服貸与が業務内容に応じたものになるよう、規定を見直させる。超過勤務執行計画の際校内で十分相談するよう校長・事務長を指導すると回答を得る。技能労務職のあり方について今後協議。

従組



11/19

近高連定通部交流集会 11/27・28

摩耶兵庫高校で神戸市

教研定通分科会と共催で開催し、延べ55名参加。各府県から定時制高校の現状、統廃合問題、多部制・昼間定時制の問題、自主研修への圧力、キャリア教育と就職難の現状などの報告。充実した討論が展開されました。



青年部大いに学ぶ！ 12/4・5 全教近プロ

青年教職員学習交流集会IN大阪 兵庫高教組の青年仲間たちが大挙19人参加！ 「他県の動きを知ることが出来る。これが近畿ブロック最大の魅力です。この機会にしか会えない人達との情報交換が刺激と勉強になります。これを機にいっそう精進します！(S)」 「全体会是一年目の先生の現状を知ることが出来る貴重な機会でした。分散会での特別支援学級の話、熱意ある指導って本当に大切で、子供に伝わるんだなあ...と感じました(Y)」



近高連実教部交流集会 12/4・5

日ごろの実習教員の奮闘が

りも交え、実験実習の技法だけでなく、「教育のあるべき姿は？」と議論を深め、教育の未来像を追求しました。津川委員長の学習「労働基本権問題」は、ひさしぶりに組合の基本に立ち返れたと大好評。平和の美海ちゃんに会い、ルミナリエも見て感激。



10確定 継続交渉の課題

臨時教職員問題

「空白の一日」

人事院は、今年国の期間業務職員を制度化する際、任用の空白を避けるようにしています。兵庫県の臨時教職員でも「空白の一日」をなくすようにさせなければいけません。また、任用の空白のために被る不利益を解消させることも重要です。

て協議していきま

超勤削減

業務の効率化を図っても、それで空いた時間に新しい業務を加えたのでは超勤削減になりません。7時間目授業や土日補習、初任研の日数などについて協議してきます。

研修

県教委は「研修は大事」と言いながら、実際には研修が一層取りにくい状況になっていきます。教職員が力量を高めるため研修を大に行うことが出来るよう、研修報告書の統一様式を決めるなどの点で協議していきま

入試業務

入試業務の日程が変わり、業務に携わる日数が増加しています。勤務時間内に終了することはもちろん、緊張を強いられる業務に対する入試業務手当を日数分支給するよう要求して協議していきま

旅費

県教委は「実費を上回る旅費が支給されている」と問題点があるとして旅費の実費支給に向けて制度の見直しを検討している

としました。旅費については、「足が出る」(修学旅行の宿泊など)ことや、身分旅費の存在が問題です。また、教職員が自ら端末から入力するシステムになる可能性があり、手続きが煩雑になる恐れもあります。これらを含めて、協議していきま

業者模試

業者模試の業務が超過勤務の原因となつていきます。教職員が一切タッチせずに行っている例もあり、教職員がこの業務に携わらないことを求めて協議していきま

特支バス添乗問題

特別支援学校のバス添乗員民間委託問題で、次長は「民間委託によって特に支障は生じていない」と回答し

ましたが、現場の教職員の努力によって支えられているのが現状です。はじめに民間委託ありきではなく、子どもの安全を根本に据えて議論することを求めていきま

技能労務職のあり方

県教委は、「学校の技能労務職は教育環境・教育活動を支える重要な職」としながらも、「採用試験の実施が難しく、職員が担っている職をどうするかが検討が必要」とし、技能労務職のあり方について協議を求めています。技能労務職がなくなると、学校の教育環境が決定的に悪化してしまいます。高教組は従組とともに、全国的に進行している技能労務職をなくす動きに反対し、技能労務職員の待遇改善を要求していきま

あなたも組合へ！

兵庫県は「厳しい財政状況」を理由に県民の福祉・医療・教育を削り、県職員の賃金を削減しています。その一方で、高規格道路などの大型工事や大企業への補助金には金をつぎ込み、県民切り捨て・大企業応援の姿勢をあからさまにしています。私たちの暮らしを守り、兵庫の教育と子どもたちの未来を守る声を上げるために、あなたの力が必要です。

ぜひ一緒に！仲間になってください。

兵庫県高等学校教職員組合
mail honbu@hyogo-kokyoso.com